

公共事業の効果等について

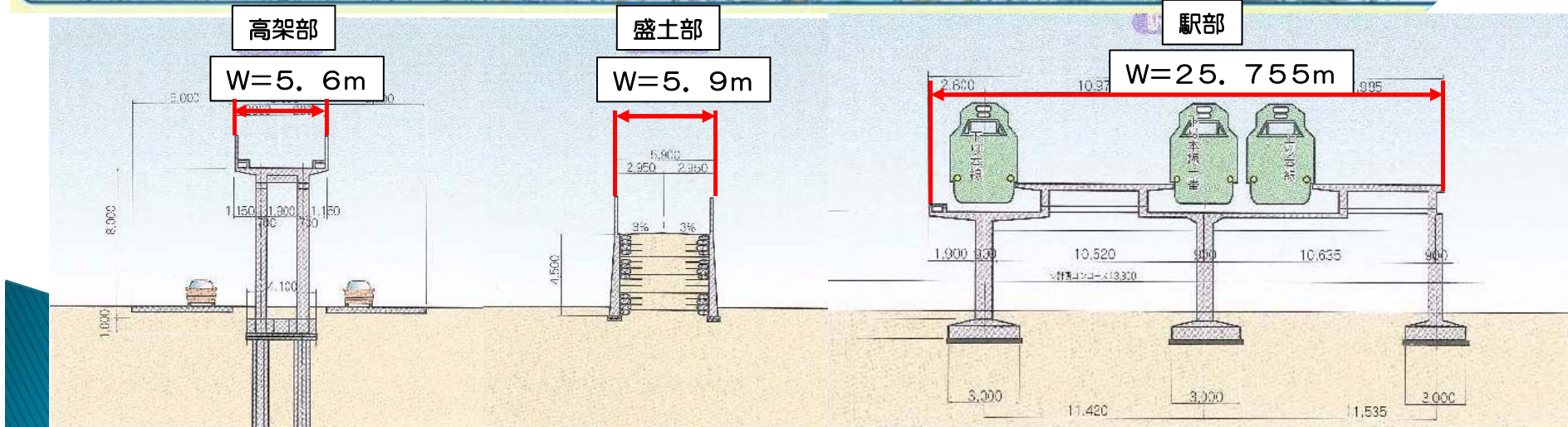
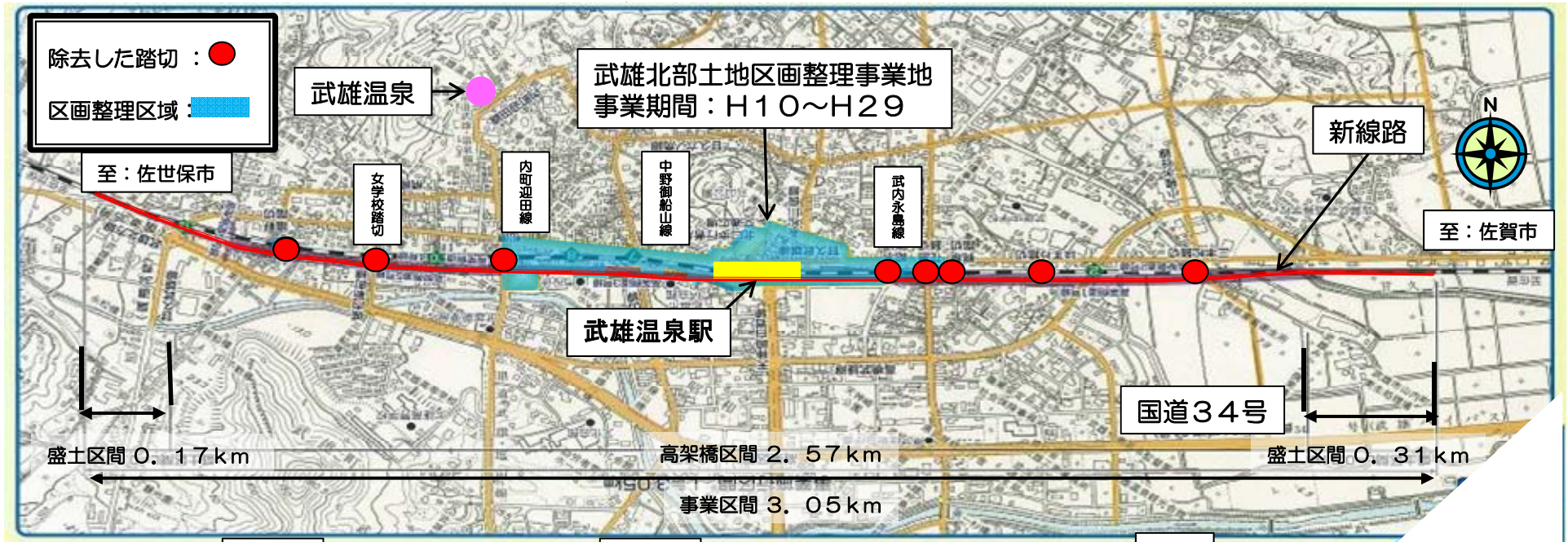
JR佐世保線 連続立体交差事業

都市計画課

◆ 事業概要

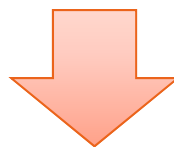
- 事業名 連続立体交差事業
- 路線名 JR佐世保線（武雄温泉駅付近）
- 所在地 武雄市朝日町大字甘久～武雄市武雄町大字武雄
- 事業期間 平成10年度～平成22年度
- 事業費 約115億円
- 事業内容 鉄道高架事業 L=約3.1km W=5.6m

◆ 事業位置図



◆ 背景と事業目的

- 当路線は、踏切により街中の道路を分断しており、朝夕のラッシュ時には交通渋滞を引き起こしていた。
- 武雄市の中心市街地は当路線により南北の均衡ある発展の障害となっていた。



- 踏切を除却し、JR佐世保線南北の交通の円滑化を図り、均衡のとれた市街地形成を目指し、土地区画整理事業と一体的に都市基盤の整備を行う。

◆ 事業前の状況



◆ 整備効果

踏切遮断時間約100分/日・箇所解消

踏切撤去前



内町迎田線



踏切撤去後



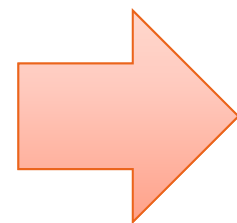
内町迎田線

踏切撤去により約200mの渋滞解消

武内永島線



佐賀県



武内永島線



◆ 整備効果

鉄道高架化により一般的な高さ制限となり、
大型車通行等の利便性が向上

鉄道高架前



鉄道高架後



◆ 整備効果

鉄道高架化によりできた空間で地域住民等の
イベント開催によるにぎわいの創出



区画整理事業と一体的整備



側道を活用した三輪車レース



高架下を活用したイベント

◆ 県民の声

- 振動・騒音の軽減が図られた。
- 踏切による交通渋滞が解消された。
- JR佐世保線沿線の景観がよくなった。
- 川端通りの住民が主催となったイベントやイルミネーションの設置等により人が集まるようになり活気が出ている。

etc